

ED 彼氏や夫を持つ女性 500 人を対象とした「ED に関する調査」結果ご報告ED でつらいのは男性だけではない**ED が原因で約 50%の女性が自信の喪失に繋がると回答、更に
10 人に 1 人が ED がきっかけで「浮気・不倫」に及ぶ！？**

切実な「ED 対策のお願い」を突っぱねる男性が 6 割 そんな男性に女性の声

「現実逃避するな」「私の気持ちも考えて」「別れようと思った」

男性と女性の間には様々な営みがあります。その中でも愛情表現や子供を作るためなど、外せないのが「性交」。ところが、最も重要な男女間の営みの一つである性交の妨げとなってしまう要因が存在します。それが「ED」です。若年性 ED など取り沙汰されるようになってきており、彼氏・夫が ED である、というケースに直面している女性も増えてきているのではないかと、というところで、この度浜松町第一クリニックでは、彼氏・夫が ED もしくはその可能性がある & 過去にそういった男性と交際した経験のある女性 500 人を対象に、「ED に関する調査」を実施いたしました。

その結果明らかになったのは、ED がきっかけで浮気・不倫をしようと思ってしまった女性、また実際に手を出してしまっている女性が多いという実態や、夫や彼氏の ED によって自信をなくしてしまっている女性が多いということ、また切実に ED 治療を訴えても断られてしまっている女性が多く、その結果ネガティブな感情を抱いてしまっている女性が多いという現状です。

■ED でつらいのは男性だけではない 女性の自信の喪失に繋がるパターンも

加齢や身体的な要因、精神的な要因など様々な要素から発症してしまう ED ですが、実際女性は、男性が ED であることについてどう感じているのでしょうか。「夫・彼氏が ED である（あった）ことをどう思いますか？」という質問を試みたところ、全体の約 4 分の 1 の 25.4%の方が、「ネガティブに捉えている」と回答しました。ネガティブに捉えている理由としては、女性側の自信の喪失に繋がってしまっているという声が多く見られました。また、自分との性交渉以外で性欲を満たしているのではないかと、という疑念や、気持ちに溝が生まれてしまうといった意見、更には「離婚の理由の一つでもある」と回答した人もおり、やはり ED が男女の関係の悪化に寄与するケースがあることが明らかになりました。また他にも、子供が欲しいのに、という声や、行為を純粋に楽しんでいる人からも不満の声が上がっており、様々な方向性で、ED に対してネガティブな感情を持っている女性が多いようです。

女性側の自信の喪失に繋がっている、という話がありましたが、「夫・彼氏が ED であることによって、自分自身の自信をなくしたことはありますか？」という質問に対して、およそ半数の 43.2%の人が「はい」と回答しています。男性は、自分自身のことだけではなく、相手の女性を不安にさせてしまうこともある、ということ認識する必要があるようです。

■ED 彼氏や夫を持つ妻のうち 10 人に一人が浮気・不倫経験アリ！？

ED についてネガティブな感情を抱いている人や、対策を行ってくれないことに対してもどかしさを感じている女性がいる現状が浮き彫りになりましたが、ズバリ、「ED が原因で、浮気・不倫をしようと思ったことはありますか？」という質問を投げかけました。結果、25.6%の人が、ED が原因で一度は浮気・不倫をしようと思ったことがあるということが明らかになりました。実に ED 男性の妻・彼女の 4 分の 1 が、浮気もしくは不倫をしようと思ったということになります。更にもうその中で、実際に浮気・不倫をしたことがあるかどうかを聞いてみたところ、「はい」と答えた人が 44.5%という数字に。浮気・不倫を「しようと思った」だけでなく、実際にしてしまっている/した経験がある人が既に 500 人のうち 57 人と、なんと 10% 以上もいるという事実が明らかになりました。

■ED の治療を怠ると手遅れに！？ED が原因で「別れたい」と思ったことがある人も。

不倫・浮気に続いて、ED が原因で別れたいと思ったことがあるかを聞いてみたところ、「はい」と回答した人が 14.4%。不倫・浮気のみならず、ED は破局のきっかけにもなりうるようです。「はい」と回答した人に、続いて「ED が治れば、一緒にいたいと思いますか？」と質問したところ、「はい」と回答した人が約 6 割。ED が、「一緒にいたい」という気持ちの妨げになっているということ象徴する結果となりました。更に同じ質問に対して「いいえ」と回答した人に理由を聞くと、「ED 以外に、嫌なところが目に付くようになったから」が 71.4%、「セックスレスにより、愛が冷めてしまった」が 53.6%という結果になりました。ED によるセックスレスはもちろん、それ以外の部分での嫌な部分を際立たせてしまうリスクもあるという結果が読み取れます。また、今回の調査を通して、ED は 2 人の問題と捉えてほしいと考えている女性が多いことや、何かしら対策を行ってほしいという女性が半数以上いることも明らかになったことを踏まえると、どのような視点から考えても早期の治療が重要だと言えそうです。

【調査方法】インターネット調査

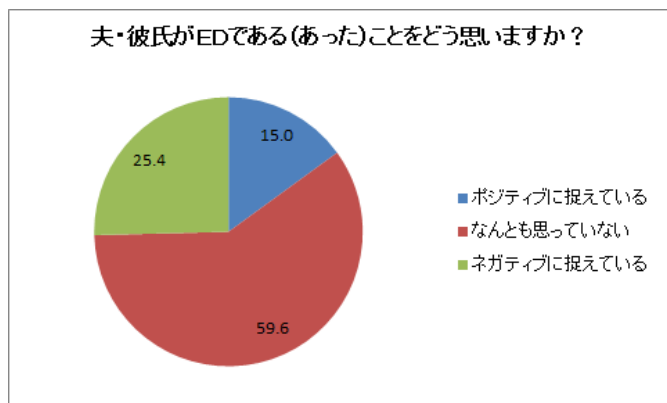
【調査期間】2014 年 6 月 3 日～6 月 5 日

【調査対象】全国の 20 歳～49 歳までの女性 500 名(「夫・彼氏が ED もしくは ED の疑いがある」という人&「夫・彼氏が ED もしくは ED の疑いがある」と人と交際していた人 500 名)

■調査結果詳細

◆ 4 人に 1 人が夫や彼氏の ED をネガティブに捉えている。理由は「自分に魅力がないのかと思う」「自信がなくなる」など

加齢や身体的な要因、精神的な要因など様々な要素から発症してしまう ED ですが、実際女性は、男性が ED であることについてどう感じているのでしょうか。「夫・彼氏が ED である(あった)ことをどう思いますか？」という質問をしてみたところ、全体の約 4 分の 1 の 25.4%の方が、「ネガティブに捉えている」と回答しました。

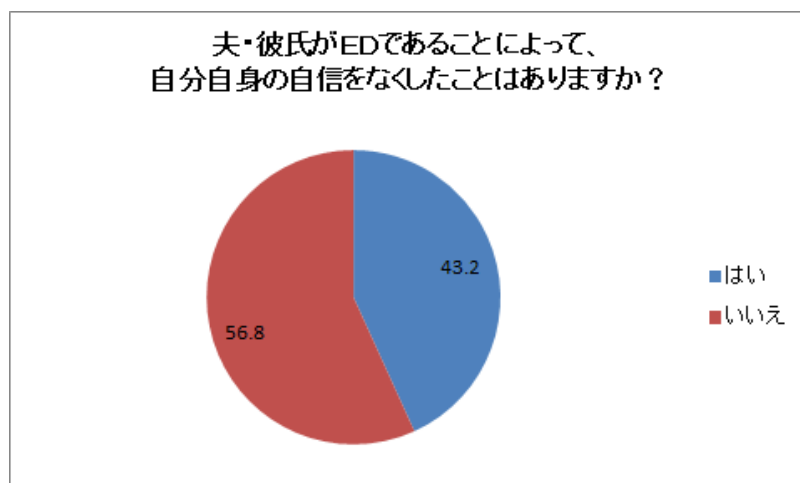


ネガティブに捉えている理由としては、以下のような声が上がっています。

- ・赤ちゃんが欲しいので毎回病院へ薬をもらいに行かなければならない苛立ち
- ・自分に魅力がないのかと思う。
- ・他の女の人やお店とかに行ってるんじゃないかと思ってしまう。
- ・役立たず
- ・EDであることで自分を卑下するような発言をされると、フォローしようがないので困る
- ・子どもも欲しいのにどうするんだろ。でも、誰にも相談できない。旦那自体どうする気なのか…
- ・気持ちに溝が生まれてしまう
- ・相手が自信をなくしてしまうのではないかと心配になる
- ・途中でうまくいかなくなったとき、不快だった。
- ・せっかく楽しみたいのに、指摘すると感情的になるし、もうこの人とセックスしても何も無いなと思った。離婚の理由の一つでもある。
- ・情けない
- ・絶望。

女性側の自信の喪失に繋がってしまっているという声が多く見られました。また、自分との性交渉以外で性欲を満たしているのではないかと、という疑念や、気持ちに溝が生まれてしまうといった意見、更には「離婚の理由の一つでもある」と回答した人もおり、やはり ED が男女の関係の悪化に寄与するケースがあることが明らかになりました。また他にも、子供が欲しいのに、という声や、行為を純粋に楽しんでいる人からも不満の声が上がっており、様々な方向性で、ED に対してネガティブな感情を持っている女性が多いようです。

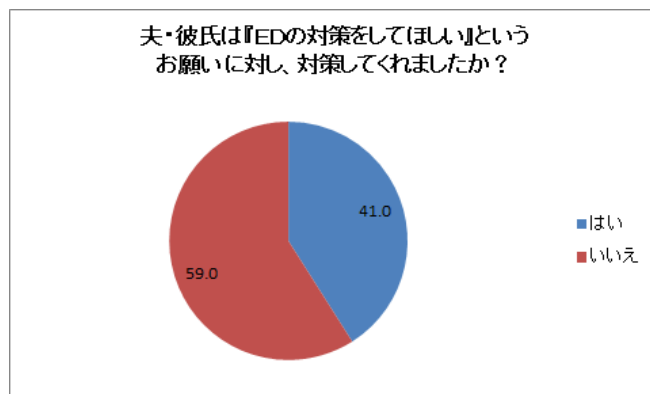
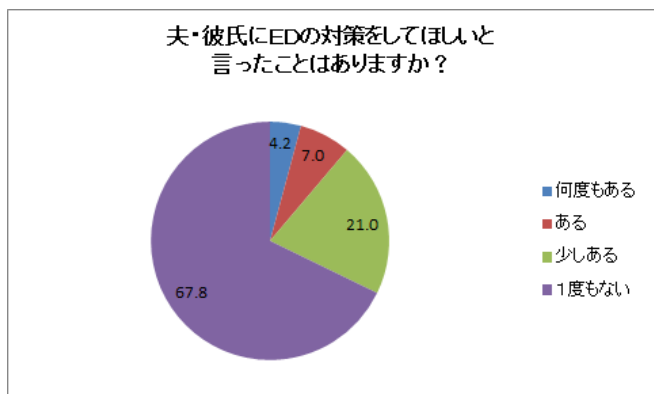
女性側の自信の喪失に繋がっている、という話がありましたが、「夫・彼氏がEDであることによって、自分自身の自信をなくしたことはありますか？」という質問に対して、およそ半数の人が 43.2%の人が「はい」と回答しています。男性は、自分自身のことだけではなく、相手の女性を不安にさせてしまうこともある、ということを確認する必要がありそうです。



◆ 切実！ED 対策のお願い、男性の 6 割近くが断っている

続いて、夫・彼氏に ED の対策をしてほしいとお願いしたことがあるかどうかを聞いてみたところ、「1度もない」と回答した人が 67.8%。つまり 32.2%の人が、1度は ED の対策を依頼したということになります。

しかし、「ED の対策をしてほしい」とお願いした結果、実際に対策してくれたかを聞いてみたところ、対策してくれたのはわずかに 4 割。6 割の人が、断っているという結果となりました。



ED の対策を断られたことに対しては、

- ・この人とは合わないかもなあと思った
- ・全て私に色気が無いってことを理由にして私に改善するように言ってきた
- ・不信感を抱いた
- ・現実逃避するな
- ・私の気持ちも考えてほしいと思った
- ・性交渉という夫婦のコミュニケーションを取れないことへの不満。
- ・私も主人と性交渉したい気持ちはあったが、主人も仕事や何やらで疲れ果てていたし、あまりプレッシャーをかけたくないので、無理強いほしくないように決めた。
- ・真剣に考えてはくれなかったので夫に対して興味がなくなりました。
- ・別れようと思った。
- ・私の事を軽んじている
- ・病院とかに行くのもしぶるし、何が抵抗があるのだろうか？と疑問に思う。自分だけのことしか考えていないのではないかと思う。
- ・子供が欲しかったのでその彼とは別れた
- ・問題から逃げていると思った。何も考えていないと怒りが込み上げてきた。
- ・プライドがあるから仕方ないけど正直治して欲しい

といった声が寄せられました。プライドや疲れなどを考えると仕方がない、という意見もありましたが、「私の気持ちも考えて欲しい」「自分のことしか考えていない」という声も多く上がってきました。子供が欲しいという思いや、一つの夫婦のコミュニケーションとしての性交渉が行えないということに対する女性の不満は、やはり大きいようです。自分はいいから大丈夫、ということではなく、女性側の気持ちに立って、

ED と向き合うことの重要性が感じられる結果となりました。

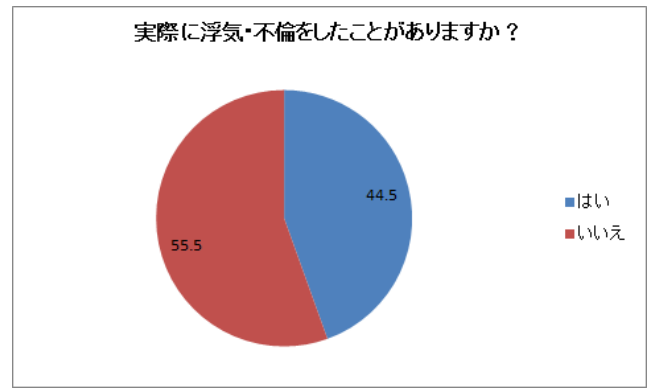
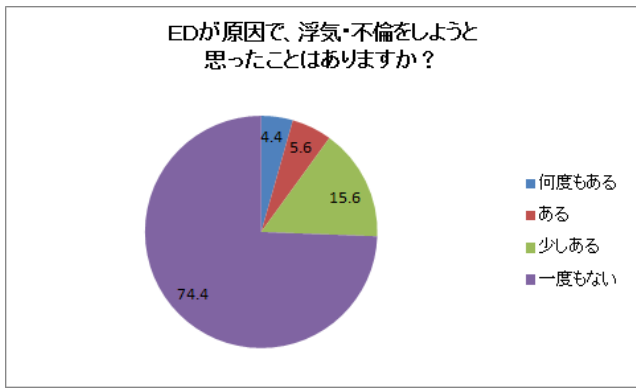
一方で女性側から ED の対策をお願いして、夫や彼氏が行ってくれた人に感想を聞いてみたところ、

- ・愛を感じた
- ・嬉しい。プレッシャーをかけたようで申し訳ない。
- ・前向きに捉えてくれていると感じた
- ・協力的で良かったと思った
- ・前向きに考えてくれて嬉しかったし、彼の背中を押すことができたのかな、という点でも嬉しかった。
- ・結婚を考えてくれてたとはいえ、病院に行ってくれて嬉しかったです
- ・もっとサポートして行きたいなと思った
- ・感謝
- ・二人のことなので、嬉しく思った
- ・排卵日にはアルコールを控える。思いやりを感じた。
- ・当たり前のこと 言われる前に行動を起こしてほしいと思った
- ・本人も気にしていたことがわかった。
- ・こちらから頼むまでは自分から何もすることなかったの、やっと重い腰を上げたか、やれやれとしか思えなかった

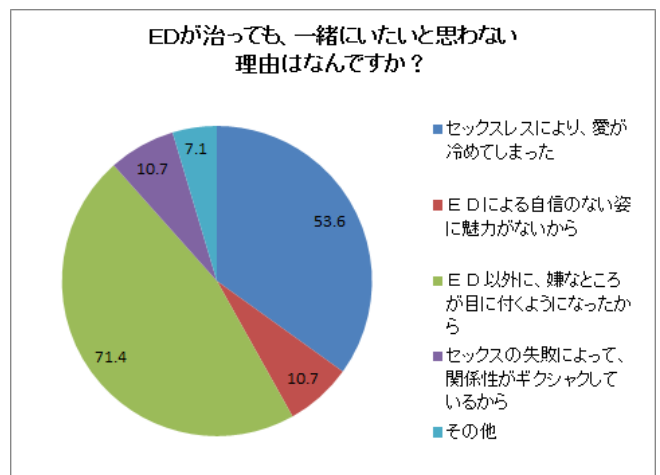
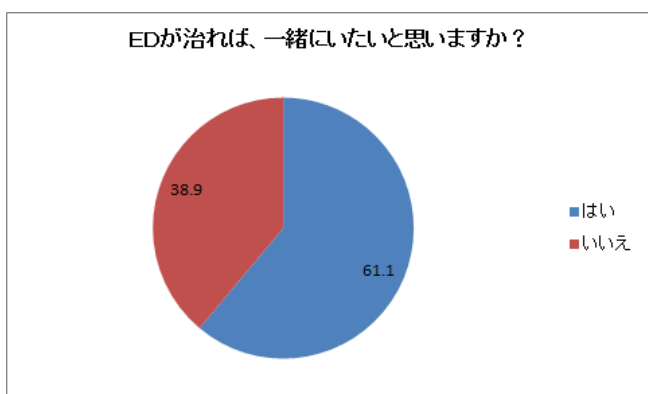
といった返答が得られました。一部、プレッシャーを掛けたことに対する申し訳なさを感じているという意見もありましたが、大半の人が「嬉しかった」と答えています。特に、対策を断られた人が抱いていた「自分のことしか考えていない」という意見と対照的に、「協力的で良かった」「二人のことなので嬉しかった」「思いやりを感じた」という声が見られました。ED を二人の問題だと捉え、対策を行ってくれることに対してはやはり女性は嬉しいようです。また、結婚前の人や、もう子供を作ろう、という段階の人など、様々なフェーズの女性が対策を行ってくれたことに対して喜びを語っていることから、段階を問わず、ED となってしまった場合は対策を行ったほうがよいと言えそうです。ただ、「背中を押すことができて嬉しい」と意見もありつつ、「当たり前のこと」「言われる前にやってほしい」という声も。男性は自分が ED だな、と感じたら早めに対策を行うことがやはり肝要なようです。

◆ 4人に1人はEDがきっかけで「不倫や浮気をしようと思ったことがある」！？

ED についてネガティブな感情を抱いている人や、対策を行ってくれないことに対してもどかしさを感じている女性がいるということがわかったというところで、ズバリ、「EDが原因で、浮気・不倫をしようと思ったことはありますか？」という質問を投げかけました。結果、「何度もある」が4.4%、「ある」が5.6%、「少しある」が15.6%で合わせて25.6%の人が、EDが原因で一度は浮気・不倫をしようと思ったことがあるということが明らかになりました。実にED男性の妻・彼女の4分の1が、浮気もしくは不倫をしようと思ったということになります。更にその中で、実際に浮気・不倫をしたことがあるかどうかを聞いてみたところ、「はい」と答えた人が44.5%という数字に。浮気・不倫を「しようと思った」だけでなく、実際にしてしまっている/した経験がある人が既に500人のうち57人と、なんと10%以上もいるという事実が明らかになりました。

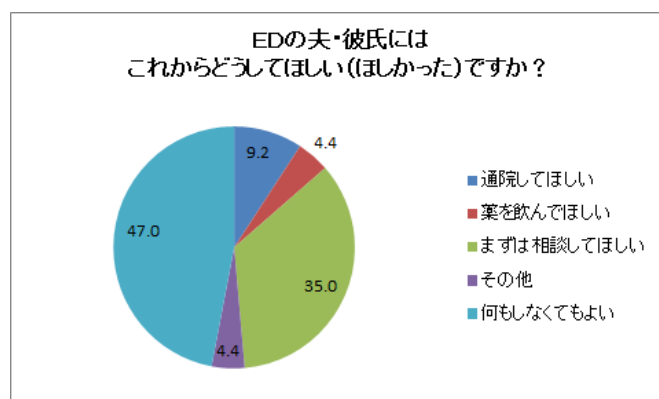


不倫・浮気に続いて、ED が原因で別れたいと思ったことがあるかを聞いてみたところ、「はい」と回答した人が 14.4%。不倫・浮気のみならず、ED は破局のきっかけにもなりうるようです。「はい」と回答した人に、続いて「ED が治れば、一緒にいたいと思いますか？」と質問したところ、「はい」と回答した人が約 6 割。ED が、「一緒にいたい」という気持ちの妨げになっているということ象徴する結果となりました。更に同じ質問に対して「いいえ」と回答した人に理由を聞くと、「ED 以外に、嫌なところが目に付くようになったから」が 71.4%、「セックスレスにより、愛が冷めてしまった」が 53.6%という結果になりました。ED によるセックスレスはもちろん、それ以外の部分での嫌な部分を際立たせてしまうリスクもあるという結果が読み取れますので、どのような視点から考えても早期の治療が重要だと言えます。



◆ ED は 2 人の問題。ED になったら「まずは相談して欲しい」という女性が約 35%

ここまでいろいろと ED について女性がどう考えているかを見てきましたが、結局女性は、ED の夫や彼氏に、どうしてほしい・してほしいかたのでしょうか。回答を見てみると、「まずは相談して欲しい」が 35%、「通院して欲しい」が 9.4%、「薬を飲んで欲しい」という人が 4.4%と、何かしら対策をとって欲しいという人が半数近くいるという実態が明らかになりました。



◆ 浜松町第一クリニック: 竹越院長より

—カップルや夫婦で、来院する場合もあるのでしょうか。

「女性から電話があつて、旦那を病院に連れて行きたい、という話もよくあります。実際に2人で来院されるケースもあります。支払いが奥様の人も多いので、奥様に行かされてるのでしょうか。旦那さんは行きたくなかったり、自分がEDであると認めたくなかったりしますから」

—夫婦やカップルで来院される方の目的は、子作りでしょうか、それとも純粋に性交をしたい、ということなのでしょうか。

「どちらもありますね。奥様の心の強さにパートナーが従っていくんでしょうね。パートナーを伴ってくる男性の場合は、女性の方が立場が強そうな人が多いです。事前に2人で相談してから来院しているからか、EDであることを受け入れて、認めてから来る人が多い印象です」

—勃起力の衰えについて、男女間で認識に違いはあるのでしょうか。

「前提として、勃起力も身体的な能力なので、衰えるんです。問診の時に持久力や視力、聴力など、力がつくものは全て衰えると説明して、初めて納得される男性の方はやはり多いですね。

力の衰えや、EDについては女性のほうが理解がありますね。男性は衰えていることを女性に悟られたくないんです。男性は薬を服用することでプライドが傷つくと捉えています。女性は、結果を求めています。勃起しようと治療をした結果が重要なんです。男性は過程、女性は結果、というイメージなのでしょうかね。こういった考え方は、なかなか男性の理解を得づらいようです。しかし、本当は力が衰えているだけなのに、相談がないまま性交の機会が減ってしまうと、ネガティブ思考の女性は、自分の魅力や不倫・浮気と言った方に考えてしまうんですね」

—日本人は欧米人に比べて勃起力が優れていて、そのせいで薬を服用する文化があまりないと聞きますが。

「欧米では治療薬を服用するのはごくごく当たり前のことで、アメリカやイギリスは、各地でED治療を行っています。しかし、日本はすごく特別な国なんです。一施設での通院するED患者数や薬を扱っている量で考えると、当院のような小さなクリニックで数多くのED患者が通院している例は世界中探しても他にないようです。アメリカの製薬会社本社の人たちが数字だけでは信用できず自分の目で確かめたいという目的で当院に視察に来たこともあるくらい珍しいことですね。これほど少ない施設でED治療薬を展開している国は、全世界で日本だけだそうです」

—女性で浮気や不倫を考えている人が多い、という結果が出ていましたが。

「ED 気味になり夜の営みが疎かになると奥様は「自分に魅力がなくなったのでは？」「愛されていないのでは？」等々、ネガティブな発想をしてしまい、寂しさや不安が募り、やがて浮気や不倫を考えてしまう人もいるということなのでしょう。他の理由として男性の場合と比べて、風俗のようなものが少ないので、性欲旺盛な女性である場合は欲求が溜りやすいのかもしれない」

—来院する人の年齢層は？

「意外に年の差カップルが多いんです。男性が年上で女性のほうが年下なことが多いですね。それで女性が初めてEDの人を目にして、ショックを受けた、ということも多いんです。でも、男性が52・53歳くらいで、女性が30歳くらいのカップルでも、2人で相談して通院するわけです。愛がなかったら、勃起しなければ薬を飲んででも性行為をしたいとは思わないはずですよ。パートナーとの信頼関係が、やはり重要です」

浜松町第一クリニック

医院長 竹越昭彦

- 1966 年生まれ
- 1991 年／日本医科大学卒業
- 1991 年／日本医科大学附属病院
- 1993～2002 年／東戸塚記念病院
- 2004 年 10 月／浜松町第一クリニック開院

[備考] ■ 日本形成外科学会員

■ 日本美容外科学会員

■ 日本麻酔科学会員



HP: <http://www.hama1-cl.jp/>

本リリースに関してのお問い合わせ先:事務局

株式会社 CyberCasting&PR 担当:井澤

TEL: 03-5459-0297 FAX: 03-5428-4647

MOBILE: 080-6857-5189 MAIL: izawa@ccpr.jp